

2022

夏号

No.88

ほなみ 徳壽

For WASEDA University Old Boys & Girls

発 行 所

早稻田大学藤沢稻門会

事務局

FAX 050-3730-7252
E-mail:w.fujisawa@
crocus.ocn.ne.jp

発行人 内田 進

穗 濤 編 集 委 員 會



内田会長の挨拶で始まった。

年ぶりに、検温、マスク着用、稻門会他支部のお客様はお呼びしない、等の感染対策をして開催されました。

前日まで心配されていた雨も上がり、暑くもなく寒くもなく、風も穏やかで最高の地引網日和。

9時30分内田進会長の開催の挨拶からスタートです。

心地よい風に吹かれて海をボー

地引網

帰ってきた早稲田の地引網

藤沢稻門会の地引網が戻つて来ました！コロナで中止を余儀なくされていましたが、5月22日（日）3

「と眺めていると、ストレスを忘れる良い気分……と、「お魚クイズ集まれ」の声が。恒例のお魚博士・有賀正義行事企画運営委員によるお魚クイズが始まりました。大人も子供も一緒にエス・ノーワンの二派に分かれ、珍しいお魚の知識も増えつつ、楽しく遊べました。今年はさすがに焼きそばやお酒類はダメでしたが、おにぎりや飲み物、子供にはお菓子の詰め合せなどが配られ、テントの下で家族でおしゃべりをしたり、旧交を温めたりとなごやかなムードで笑

一段落すると今度は宝探しです。あらかじめ、行事委員の方が砂の中に埋めておいたボーレルを、子供たちが探して見つけた順に好きなおもちゃを選んでいくのです。幹事の寄付のおもちゃがたくさん

あつて大喜びでした。

3時間ほどで楽しいプログラムもすべて終了、駆け付けてくださった鈴木藤沢市長のご挨拶があり、最後はシラスなどのお魚を貰つて帰ります。



いっぱいとれるかな？

分、より楽しい地引網で、大人67名、中・小・幼児22名参加でした。尽力してくださった大庭信俊行事企画運営委員長はじめ幹事の皆様に感謝しつつ、来年も無事に開催されることを期待して帰途に着きました。

「あっお魚がいるぞ」と目を輝かす！

濤



中野美昭講師が熱く語る！

2019年11月9日（土）に第1回を開催して以来、コロナ等により延期されていた第2回懇話会が2022年3月12日（土）午後2時より市役所5F会議室で開催された。

当日はコロナ感染防止のため会場の席間隔や換気配慮し、25名の参加者で行われた。

開会のあいさつの中内田会長は、昨年度からいろいろな行事が中止・延期を余儀なくされた経過と藤沢稻門会の文化的面での懇話会の果たす役割の重要性を強調された。

今回の講演は幹事の中野美昭さん（昭和51年教育卒）が「道徳教育はなぜ必要なのか～新型コロナ感染症への国民的意識について」など現在の学校教育の抱える諸問題について、講師は熱く語った。その参加者を配慮し、「新型コロナ感染症への国民的意識について」など現代的内容のテーマでグループ討議が実施された。この議論は大いに盛り上がり、話し合いを途中で中断させるのに講師は苦労するほどであった。また各グループの意見集約発表にも熱が入り、道德に対する問題意識が高まつた。

最後に山下幹事が懇話会開催までの苦労と講師への謝辞を述べ、その中で「道徳という固い内容で実は心配したが盛会に終わってホントしている」との心情が語られると、参加者から暖かい拍手が送られ、充実した雰囲気の中で閉会した。

（中野正一記）

第2回藤稻懇話会を開催

感染症対策と国民性～のテーマで行なつた。

中野さんは中学校長退職後、北里大学教職課程センターで学生たちに道徳教育論の講義を現在も続けられている。その為、大学で行

つている講義形式を取り入れ、冒頭に参加者の緊張感をほぐすため3人程度がグループになり、自己紹介・趣味、そして自分の長所を相互に伝え合い交流を深める（アイスブレーキング）など様々な工夫を交えて話を進められた。

道徳の授業内容や評価の問題など現在の学校教育の抱える諸問題について、講師は熱く語った。そして、現役をだいぶ前に引退した参加者を配慮し、「新型コロナ感染症への国民的意識について」など現代的内容のテーマでグループ討議が実施された。この議論は大いに盛り上がり、話し合いを途中で中断させるのに講師は苦労するほどであった。また各グループの意見集約発表にも熱が入り、道德に対する問題意識が高まつた。

最後に山下幹事が懇話会開催までの苦労と講師への謝辞を述べ、その中で「道徳という固い内容で実は心配したが盛会に終わってホントしている」との心情が語られると、参加者から暖かい拍手が送られ、充実した雰囲気の中で閉会した。

（中野正一記）

2年ぶりに開催

4月30日夕刻、さかな家

で新会員交流会が催され、

新会員14名、歓迎側9名が

参加、コロナ禍で2年半ぶりの開催に異例の盛会となりました。

内田会長の入会歓迎ご挨拶、笛井副会長の乾杯で始まりました。

新会員交流会はやがて自己紹介で

クラスマッチスに至りました。新

会員といえども2年超の間に既に

同好会等で顔なじみの方々が多く

いらして、初めてらしからぬ親し

めやらぬなか、佐藤副会長の一本

締めでお開きになりました。

同主旨同所で6月25日（土）夕刻第2回新会員交流会が催され、

新会員8名（うち初参加は3名）

歓迎側4名でした。打ち解けた雰囲気の中、趣味や多彩な経験に会話が弾み、これから稻門会活動

みと意気込みを込めた自己紹介になりました。

パワフルな土木の現場、稀有な

外国経験、核燃料のお話、大自然と向き合うお話などなど。熱気冷めやらぬなか、佐藤副会長の一本

締めでお開きになりました。

同主旨同所で6月25日（土）夕刻第2回新会員交流会が催され、

新会員8名（うち初参加は3名）

歓迎側4名でした。打ち解けた雰囲気の中、趣味や多彩な経験に会話が弾み、これから稻門会活動

が一層活発になる予感のする交流会でした。 松嶋交治（昭46理工）

第6回女性校友プチ懇親会

女性委員会

梅雨を思わせる空模様の5月16日、藤沢稻門会女性校友11名は第6回プチ懇親会として「大船フラーーセンター」へ行つてまいりました。

ちょうど春バラが満開を

むかえ絶好の鑑賞日和のこの日。

ここにバラ園は意外と存在が知られていないのですが、近隣から愛

好家達が訪れる名スポット。

当地で生まれた品種もあり、そ

の名も「鎌倉」という薄い黄色のバラ。何と「トゲ」がありません。

食べでは喋り、都度皆さんマスクの着脱に忙しいこと。

早稲女らしく好きだった文学や音楽の話で盛り上がるも、

の開催は自然と会話も弾みます。

最後は写真撮影でニッコリ、パ

チリ！「またね」と再会を約束しました。（橋本敦子記）



早稲女が大集合！



楽しい笑顔がいっぱい！

穗 潤

足立前会長を見送る



彼との付き合いは長く、 同い年での近所付き合いからでした。享年75歳でしたから、かれこれ10歳頃から65年に及ぶ事となりました。

負けず嫌いでこだわり屋のところ

があり、私は良きライバルと捉えていたのかもしれません。

共に育ち社会への貢献に燃えた場は、彼は三菱信託の銀行マン、私は富士通の経理財務マンでした。若い頃からそれぞれの会社で死ぬ程働き、経営者の端くれを担う事になりましたが、自らの役割の思ひは大きく「人生劇場いざ序幕」の心意気は常に同じでした。

地元藤沢では藤沢稲門会の前会

長として同窓会の活動拡大や地域貢献にも努めました。湘南高校、早稲田の親しいメンバーも多く、思い半ばの彼を見送つてくれました。

藤沢稲門会の組織拡大、女性や若手を含めた組織の活性化に意を

碎き、会員も450人を超える、県下で横浜に次ぐ組織体に成長させ、仕事と地元でのシニアライフの両立がし易い運営に心がけ地域活動の「場の提供」を目指しました。

創立25周年を機に会の改革を狙

い「パートナー会員制度」の導入や「長寿表彰制度」の導入はユニークで年配の会員には喜ばれてい

ます。

高齢化社会にも拘わらず思いもかけない早世でした。やり残した事も多かるうと思います。パートナー会員である久江夫人をはじめ、ご立派な親族を残されました。安らかに天に召されます事を心より

お祈り申し上げます。

小倉正道（昭44・商学）



会長として最後の総会で(2018)

● 年度会費の納入を
お忘れではないでしょうか?
今年はコロナ禍にも負けずに藤沢稲門会の行事も少しづつ出
来るようになりました。藤沢稲門会の運営は皆様のご協力で成
り立っています。会員の総力でウイズコロナの時代を乗り切り
ましょう。

● 年度会費の納入を

お忘れではないでしょうか?

行事予定

■ 第14回 写真展

日時・9月6日(火)～11日(日)

午前10時～午後7時

※最終日は午後5時まで

会場・藤沢市民ギャラリー

第3展示室

(ODAKYU湘南

GATE 6F)

主催・藤稲フォトクラブ

■ 2022 神奈川県支部大会

日程・11月5日(土)

会場・ミナパーク

主管・藤沢稲門会

■ 忘年会(予定)

日時・12月3日(土)

会場・藤沢市民会館

第一展示ホール

■ 第20回 藤沢稲門会作品展

日時・12月20日(火)～25日(日)

午前10時～午後7時

※最終日は午後5時まで

会場・藤沢市民ギャラリー

第1展示室

(ODAKYU湘南

GATE 6F)

お詫びいたします。
＊退任監事
ご苦労様でした。

大川孝之

※穂濤87号に掲載できなかつた
氏名をお詫びして追記いたし
ます。

GATE 6F)

編集委員長
編集委員

山下扶佐子
橋本敦子・山口金雄
舛岡健
高野尚志・中野正一
橋本敦子・山口金雄